

マイクロフィラリア（バンクロフト種）陽性者に 対して（Dithiazanine）を使用した例 “スミレ”

照屋寛善 ○ 仲地紀良 国吉真英
平識善保 城間盛吉 (琉球衛生研究所)
田端辰夫 (那覇病院長)
上田朝高 玉那覇秀雄 金城進
(那覇病院検査室)

糸状虫症の根本治療は体内の糸状虫を駆除することでありこの意味に於いて化学療法剤は重要な治療手段である。現在迄の主な化学療法剤はアンチモン剤、砒素剤及びピペラジン誘導体の三者である^{1)、2)}。最近発売されている腸内寄生虫特に鞭虫、糞線虫に有効とされているスミレ (Dithiazanine) は東京農工大学家畜寄生虫病学教授久米清治博士によると犬糸状虫の血中仔虫に対して100%の陰転化を示したと報告されている。ゲラチンカプセルに入れて1日1回、又は2回に分服し1日量5mg/kgは7日、10mg/kgは4日、静脈注射は15mg/kgは2日で仔虫は消失したと報告されている^{3)、4)}。私達は新しい糸状虫駆除剤の試みとしてバンクロフト糸状虫仔虫保有者20人を対象にして投薬を行い仔虫数の変化を観察した。

検査方法

那覇看護学校の学生及び看護婦206人を対象とし那覇病院検査室が1960年11月に検血を実施した成績は第一表の如くである。検査方法は午後10時以後採血は行い、採血量を一定にするため東京大学伝染病研究所寄生虫研究部の実施している三条法（一条10cmm: ザーリーピペットの半分、を一標本に三条のせ給血量30cmmの定量採血法）に従い、ギムザ染色によつて仔虫検出を行つた以上の検査によつて検出された仔虫陽性者20人に対してスミレの投薬を行つた。

投薬前の観察として以上の20人に対して1960年12月9日午後9時~10時に琉球衛生研究所寄生虫部が再検査を前回と同様の三条法に従つて行い仔虫数を確かめ、投薬後の経過観察のために12月20日、12月23日、1961年1月1日の三回に同様の定量検血を行つた。

投薬方法は1960年12月16日夕食後より始め1日量0.6gを3分し食後服用、7日間継続して与えた投薬量は1日12mg/kg（体重50kgと仮定して）総計4.2g（84mg/kg）である。使用したスミレはエーザイ株式会社製品一錠50mg糖衣錠を使用した。

成績

第二表及び第I図の如くである。

考察及びまとめ

1) 検査対象を学年単位、職別に別けると1、2学年に陽性者は殆ど含まれ1例だけ看護婦に出ているだけである。

2) 検査成績が那覇病院検査室で行つた成績では仔虫陽性であつた者が琉球衛生研究所で再検査したときには検出されずその後経過観察の目的で行つた検査では仔虫が検出されている。1例は最後の検査まで検出されていない。

この差異は採血時間の差によつて生じたのではないかと思われる。

3) 平均仔虫数の減少は犬糸状虫の成績の如く表われず20隻前後であり減少がみられない投薬後31日目の検査でも変化はないので仔虫に対する効果は弱いと思われる。又成虫にも影響を与えなかつたと思われる。以上の成績はスミレを使用した例であるので更に投薬法を変えて試みる必要があると思われる。本試験に協力下さいました那覇病院長、検査室の各位、看護学校、公育学校甚看護婦、特にスミレを服用して下さいました方々に深、の謝意を表します。又スミレを提供して下さいました東京大学伝染病研究所寄生虫研究部 田中寛博士 並にエーザイ株式会社に感謝致します。

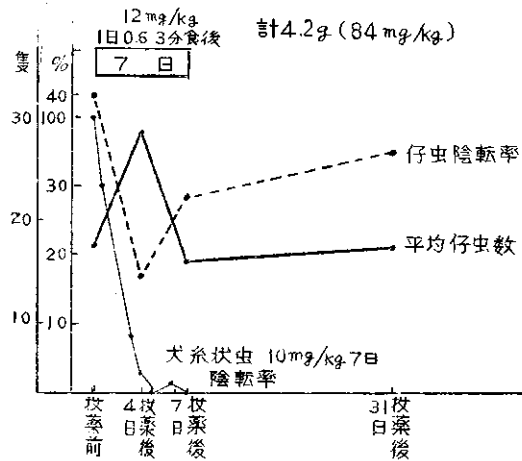
文 献

- 1) 佐々学 北村精一
林 滋生 片峰大助
最新寄生虫病学 医学書院
- 2) 佐々学 他11人
獣医畜産新報 No 114 昭和28年7月
- 3) 久米清治 クリニシアン
第7年 第72号 1960年11月
- 4) 久米清治、大石勇、小林茂男
犬糸状虫に及ぼす Dithiazanine の影響について
日本獣医師会雑誌 第19巻 昭和35年6月6号

第一表

	在籍	被検査者数	仔虫保有者数	備考	被検査率	仔虫保有率
1年	50人	50人	11人		100%	22.0%
2年	49	48	7		97.9	14.6
3年	31	31	0		100.	
公看学生	20	17	0		85.	
看護婦	58	58	1	看校教師含む	100.	1.72
学校事務職員	3	2	0		66.	
計	211人	206人	19人		97.5%	9.2%

第1図 スミレ服用後成績



第二表

投薬後仔虫数 (30cmm中の仔虫数)

No	氏名	性	年令	投薬前	投薬前	1960年		1961年
				病院成績	衛研成績	12月20日	12月23日	1月16日
1	天 ○ 八重子	女	19	17	0	12	16	2
2	新 ○ 圭子	〃	〃	63	7		8	23
3	上 ○ キミ	〃	〃	2	2	1	0	0
4	川 ○ 和 ○	〃	18	1	0	0		
5	高 ○ ○ 代子	〃	19	2	10	12	0	9
6	登 ○ ○ 澄	〃	18	2	1	2	3	3
7	富 ○ ヤ ○ 子	〃	18	12	11	2	10	28
8	友 ○ 弘 子	〃	20	198	198	305	93	113
9	仲 ○ 敏 子	〃	20	8	5	24	11	8
10	山 ○ 恵 子	〃	19	2	0	1	0	0
11	与 ○ 和 子	〃	19	2	0		1	9
12	石 ○ 清 子	〃	20	4	2	0	0	0
13	久 ○ 久 子	〃	〃	1	0	1	4	0
14	立 ○ ○ 子	〃	〃	3	9	16		0
15	多 ○ ○ 啓 子	〃	〃	31	10	42	46	12
16	当 ○ ツル 子	〃	〃	11	0	2	8	2
17	中 ○ ○ 子	〃	〃	4	0	13	4	
18	前 ○ 貞 子	〃	〃	6	8	9	21	14
19	宮 ○ ○ ツ 子	〃	20	?	0	0	0	0
20	高 ○ 澄 子	〃	26	16	83	70	48	75
	合 計	〃		385	346	512	273	298
	平 均	〃		20.3	17.3	28.4	15.1	16.5
	陰 転 率	〃				16.7	27.8	33.3